

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2015.7.25 No.236 連絡先 FAX 042-555-1911



「C-130が10機、揃って飛ぶらしい」と情報提供が 米軍は無通告

14日、「C130 輸送機が 10 機いっぺんに揃って飛ぶらしい。滑走路にはもう 10 機勢揃いしている。」という情報が届きました。右の写真は米軍横田基地のホームページに掲載された 16 枚中の 1 枚ですが、ここには 10 機の C-130 が写っています。



米軍横田基地 HP には、「7月14日、9機のC-130が空輸能力を訓練、実践中に離陸した。そして、インド-アジア太平洋地域における基本空輸ハブとして、横田の役割が明らかになっている」などと書かれています。

また、「1機のC-130が、演習期間中、サンドバッグ(砂袋)を投下し、目標に向けて正確に荷物を投下することを試験した」とも。

サムライサージと言える大編成のこのような訓練は、これまで事前に地元自治体に情報提供されてきましたが、今回は、それがありません。

16時ごろ、横田に戻ってきたC130が2機ずつ並んで低空飛行や急旋回しました。見ていた大人も子供も驚いていたそうです。(右写真 I 氏撮影)



無通告で緊急管理演習(EME)も

さらに、米軍横田基地 HP には、7月13日に、緊急管理演習(EME)が行われている写真も載っています。瞬時の航空事故にどう対応するのか。消防士がいかなる状況に対しても準備を高めておくことや、医療グループは現場に到着したら状況を判断するとか、被害者を移送したり、看護師も瞬時の事故を処理するなど、様々な訓練をしています。(右写真)

これも、事前に情報提供されるべき内容です。米軍が、通常の訓練だからと、何でもやることになったら、大変です。オスプレイも勝手に飛来・訓練をすることになりかねません。米軍の横暴に抗議します。



オスプレイ配備準備? 格納庫・駐機場整備など業者募集

米軍横田基地の米空軍特殊作戦機 CV22 オスプレイ配備に向けた施設整備と見られる工事の施工業者募集が始まったことが「しんぶん赤旗」7月25日付で分かりました。(裏面に図面)

米政府の発注事業の契約情報を公開している連邦商取引機会(FBO)のホームページに、入札参加事業者の事前募集が掲載されたのは、日本側へのCV配備計画の通報(5月11日)から1週間後の18日でした。内容は、①臨時の飛行隊作戦施設と交換部品保管のための覆い付き屋外保管施設の建設、②格納庫の増・改築、改修、③チャフ・フレア貯蔵施設、軍需装備品貯蔵施設、複合修理施設の建設、④駐機場、誘導路待機場の改修、緊急着陸場の建設、です。(次号に続く)